

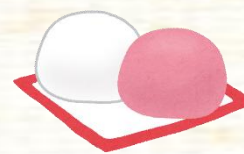


園児さんと一緒に敬老のお祝い！

～飛鳥ともしび苑～

9月17日、飛鳥ともしび苑デイサービスセンターで敬老会を開催しました！
ともしび保育園の園児さん達も一緒にお祝いしましたよ☆
ジェスチャーゲーム、ダンス、けん玉など、とっても充実した楽しい敬老会になりました！皆さまお楽しみのビンゴゲームも盛り上がりしました！

ー飛鳥ともしび苑デイサービスセンター職員一同、心よりご長寿のお喜び申し上げますー



職員からの出し物も皆さまにとっても楽しんでいただけた！
お祝いの表彰や、職員から手作りのキーホルダーを受け取られ、喜んでおられました(^ ^)



ともしび保育園の園児さんからお歌のプレゼント♪
利用者さんも職員も一緒に「富士山」と「ふる里」を合唱しました！



園児さんより、「いつまでもげんきでね」のメッセージ
が入った心温まる手作りポスターのプレゼント♡



園児さんのけん玉を微笑ましくごらんご覧になられていました♪



ビンゴの景品を楽しそうに選ばれて、お好みの景品をお持ち帰りいただきました！



職員インタビューコーナー

福祉の世界に入ったきっかけ

志望大学を決める時に、当時興味があった経済と福祉、どちらの学部か迷っていたのですが、自分は何を学びたいのかを考えた結果「福祉の勉強がしたい」という想いがあり、社会福祉学部のある大学を選んだことがきっかけです。福祉に携わっている方は、生育環境や福祉の仕事がしたい、と思うきっかけになった出来事を持っている方が少なくないのですが、私の場合は大学進学がスタート地点で、「ここから福祉を学ぶ」、という気持ちでスタートしました。大学卒業後、最初の就職先で3年ほど働いたあと、平成16年に飛鳥ともしび苑デイサービスセンターに介護職員として入社して1年が過ぎた頃、「飛鳥ともしび苑グループホーム」の新設を機にデイサービスからグループホームへ異動となりました。異動後から今日まで約20年間グループホームで勤務し、平成27年からは管理者となり今に至っております。

実際に福祉の仕事について

入社して1年と少し、デイサービスの仕事も覚え、充実していた所にグループホームへの異動の話がありました。当時のグループホームの管理者に「育てるから」と言われたことはとても嬉しかったですし、自分たちで一から作り上げる楽しさにも魅力を感じ、前向きな気持ちで異動しました。いざグループホームで勤務すると、デイサービスとは全く違う世界でギャップを感じたこともありましたが、試行錯誤しながら作り上げていく喜びの方が大きかったです。サブリーダーになった時は、プレッシャーよりも「育てるから」の言葉が形になって有難かったですし、励みにもなりました。

やりたいこと

グループホームとしてイベントをやろうと思うと、入居者さんの状态的に果たして何人の方が楽しめるのか…という難しさがでてきてしまいます。私としては個別に何かをしてあげられたら、と思っていて、元気な方は1対1でどこかに連れ出すなど、個々に楽しめることを提案し、実現していきたいです。

大切にしていること

「相手の立場になって考える」を大切にしています。これ続けてきたことで自分目線ではなく、相手に合わせる力が身に付き、入居者さんがどんな状態であっても合わせるできるようになってきました。また、「言葉は通じなくても通じ合っている」「認知症の方に信用してもらえている」と実感する瞬間はとても嬉しく、私にとってこの仕事を続けられる大切なエネルギー源となっています。



飛鳥ともしび苑グループホーム 管理者
児玉 太郎さん

休日の過ごし方、ストレス対処

休みが合えば子どもと出かけたり、何かしら関わりを持つようにしています。最近では大阪・関西万博に高校生の息子と一緒にいって、人気のイタリア館も楽しんできました！中学生の息子は野球をしているので、時間が合えば一緒にやることもあります。ストレス対処は特に必要ないのですが、気分転換に映画鑑賞や、時々競馬も楽しんでいます！

未来の自分

ここに居る限りは、グループホームをもっと良くしていくことに尽力したいと思っています。その為に後輩職員の更なるステップアップと外国人職員の育成が欠かせません。外国人職員の成長は長い目で見守っておりますので、育つまでに時間を要することは納得しているのですが、育ってきた頃に他施設へ転職していく姿を目の当たりにするのは正直辛いものがあります…。今後は、彼らに「長く働きたい」と思ってもらえる魅力ある職場作りにも取り組んでいけたら、と思っております！